



身近な犯罪被害防止対策

自転車盗・オートバイ盗

主な手口や特徴

- 刑法犯認知件数のうち、約3割が自転車盗です。
- 盗まれた自転車の約6割が無施錠です。
- 盗まれたオートバイの約3割は、鍵を差したまま車両を離れた際に被害にあっています。
- 自転車盗の約4割、オートバイ盗の約7割が戸建・集合住宅敷地内で発生しています。
- 「ちょっとそこまで借りるだけ」といった単純な動機から安易に行われやすい犯罪です。

被害を防ぐためには

- **自宅に駐輪する時も必ず施錠** しましょう。
- コンビニでの買い物など、わずかな時間でも必ず施錠しましょう。
- オートバイはハンドルロックをしっかりかけましょう。
- 施錠する時はツーロックにするとより効果的です。
- 明るく見通しが良い、管理人がいる、防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器が整備されているなど、管理の行き届いた駐輪場を選びましょう。

- 自転車を所有した時は必ず防犯登録を、オートバイを所有した時は二輪車防犯登録をしましょう。

防犯登録は、盗難被害にあった時の早期発見、発見された場合の返還等に活用されます。



- ※ 放置自転車などが多い地域は、犯罪者に目をつけられやすい地域でもあります。
- ※ 防犯登録は、「自転車の安全利用の促進及び自転車等の駐車対策の総合的推進に関する法律」により義務付けられています。
- ※ 「埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例」により、自転車利用者は盗難防止のための施錠に努めることになっています。また、自転車保険の加入義務があります。

自動車盗・車上ねらい・部品ねらい

主な手口や特徴

- 自動車盗では、「リレーアタック」と呼ばれるスマートキーの電波を特殊な機器で中継（リレー）し、車を開錠・エンジンをかけて盗む手口や、「CAN インベーター」と呼ばれる車の配線を経由して車両のシステムに侵入して盗む手口が発生しています。
- 車上ねらいでは、車の窓ガラスや鍵穴を破壊する手口などがあります。
- 座席に上着、カバンなどが外から見える位置にあると、金目のものがあると思われ、車上ねらいの被害にあいやすくなります。
- 部品ねらいでは、車やオートバイのナンバープレート、電動アシスト自転車のバッテリーなどの部品を盗まれる被害が発生しています。

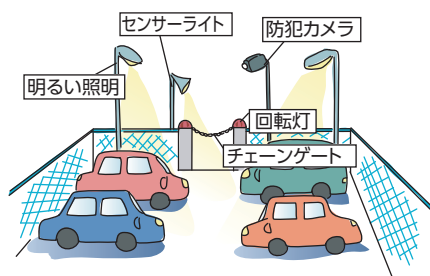


被害を防ぐためには

- 「管理人がいる」、「明るく周囲からの見通しが良い」、「防犯カメラやセンサーライト等の防犯機器が整備されている」など、管理の行き届いた駐車場を選びましょう。
- 車から離れる時は必ずエンジンキーを抜き、窓は完全に閉め、確実に施錠をしましょう。
- 「CAN インベーター」対策として、車両左側をなるべく壁に寄せて駐車しましょう。

- リレーアタックの対策として、スマートキーからの電波を遮断するため、スマートキーの節電モードの使用や、スマートキーを金属の容器で保管しましょう。
- イモビライザー*、GPS 追跡装置、防犯アラーム、ハンドルロック・タイヤロックなど防犯機器の装備をつけましょう。
- 幼稚園の送迎時など、たとえ短い時間でも車から離れる時は、必ず施錠し、車内に荷物を置いたままにしないようにしましょう。
- 貴重品は、必ず身に付けて行動するようにしましょう。
- 自転車やバイクのかごに荷物を置いたままにしたり、トラック等の荷台に工具等を置いたままにしたりないようにしましょう。
- ナンバープレートの取り付けには、盗難防止用のネジ・ナットを活用し、電動アシスト自転車のバッテリーは取り外して屋内に保管したり、ワイヤー錠で二重ロックしましょう。
- 複数の対策をとるとより効果的です。

※ 違法駐車が多い地域は、犯罪者に目をつけられやすくなる上、目隠しとなって犯罪を誘発します。



*イモビライザー

エンジンキーに埋め込まれているトランスポンダー（送信機）のIDコードと車両本体内の電子制御装置にあらかじめ登録されたIDコードが一致しないと、電気的にエンジンが始動しないシステム。

ひったくり

主な手口や特徴

- オートバイや自転車に乗った犯人が、追い抜きながらバッグをひたたくって逃走する手口が発生しています。
- 金融機関から出てきた人の後をつけて狙う例もあります。
- ひったくりの被害者の8割以上が女性です。

被害を防ぐためには

- 自転車のかごにはひったくり防止カバーを正しく取り付けましょう。
- 自転車のハンドルにバッグの持ち手をかけると、ひたたくられた時に転倒してケガをすることにもなりかねないので、やめましょう。



ひったくり防止カバーを装着

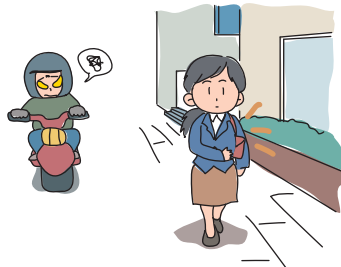
※「埼玉県自転車の安全な利用の促進に関する条例」により、自転車利用者はひったくり防止カバーの装着に努めることになっています。

- バッグは常に車道と反対側に持つ習慣をつけましょう。

✕ 狙われやすい例



○ 狙われにくい例



- 防犯ブザーを持ち歩き、見えやすいところにつけましょう。
- 人通りの多い明るい道を歩きましょう。
人通りの少ない道や深夜・早朝など、人目がなくなる場所や時間帯は、特に注意が必要です。
- 金融機関や ATM の帰り道は注意しましょう。
犯人は近くで様子を見ている場合があります。
- 多額の現金を持ち歩く必要がある場合は、複数人で行動したり、自動車を利用しましょう。
- 音楽を聴きながらやスマートフォン・携帯電話を操作しながらの歩行は、周囲への注意力が散漫になるのでやめましょう。



住宅対象侵入窃盗

主な手口や特徴

- 主な手口は、「空き巣」、「忍込み」、「居空き」です。
 - ・ 空き巣…家人が不在の住宅に侵入する
 - ・ 忍込み…家人が就寝した頃を見計らって侵入する
 - ・ 居空き…家人が在宅中、昼寝や食事をしている際に侵入する
- 住宅対象侵入窃盗のうち6割以上が空き巣です。
- 約6割が窓からの侵入です。
- 施錠していない玄関や窓からの侵入が約3割です。
- 現金のほか、貴金属やパソコンなどの換金可能なもの、健康保険証やパスポートなども狙われます。
- 被害にあうと、大切な財産を失うだけでなく、精神的にも「見知らぬ者が自宅に侵入した」という大きなショックを受けることになります。

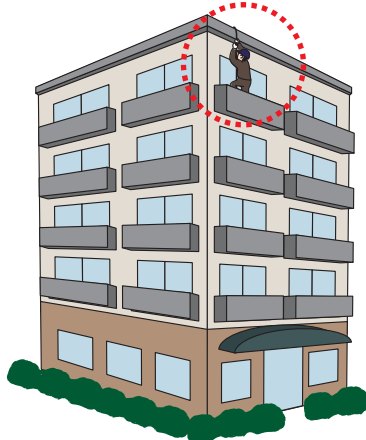


～狙われやすい住宅・環境～

- ①道路から見えにくい位置に出入り口や窓がある。
- ②高い塀や植木などにより道路からの死角が多い。
- ③公園や駐車場など、誰もが自由に入出入りできる場所に面している。
- ④道路と敷地に仕切りがなく、容易に敷地内に入れる。
- ⑤住宅のベランダが、塀などから近く、2階に容易に上がれる。
- ⑥敷地内に2階への足場となる脚立などが見える場所に置かれている。
- ⑦ご近所づきあいがない。
- ⑧夜間になっても洗濯物が干したままで不在だと分かる状況にある。



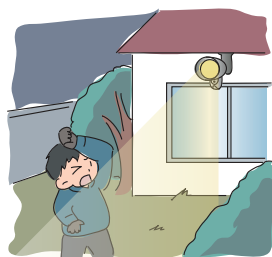
上層階でも注意を！



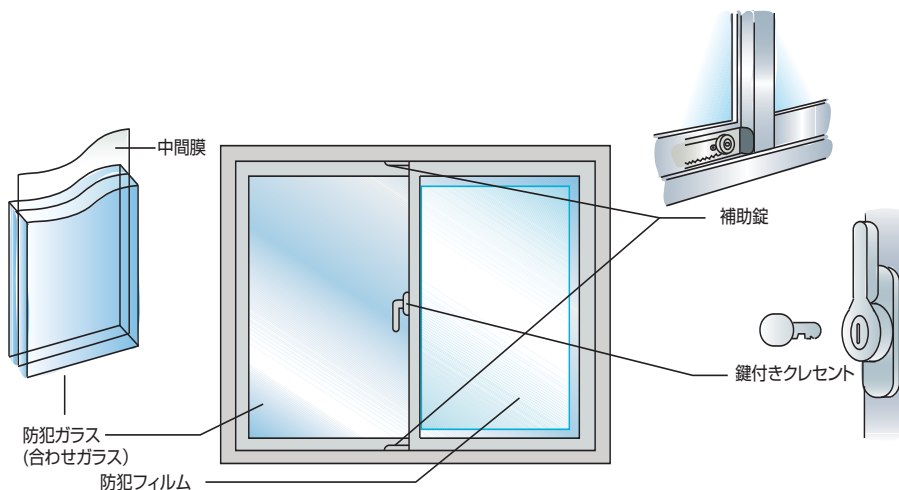
被害を防ぐためには

①侵入を防ぐために

- 在宅時・不在時を問わず、ドアや窓の鍵をきちんとかけましょう。
- ゴミ出しなどのわずかな時間でも鍵をかけましょう。
- ひとつのドアや窓に補助錠など鍵をふたつ以上取り付けましょう。(ワンドア・ツーロック)
- 窓は、防犯ガラスにするか、防犯フィルムを貼り付けたり、頑丈な面格子を取り付けたりしましょう。
- 防犯カメラ、防犯アラーム、センサーライト等を利用しましょう。
- エアコンの室外機など侵入の足がかりとなる部分には、フラワーポットを置くなどの工夫をしましょう。



センサーライト



- 家の周囲の整理整頓に努め、侵入の足がかりとなるもの（空き箱など）を放置しないようにしましょう。
- 庭に防犯砂利を敷くと、歩くたびに音が出るので、防犯に効果的です。

②留守と分からないようにするために

- 外出時は、明かりをつけておくか、電源タイマーを利用しましょう。
- 旅行などの時は、新聞や郵便物を止めてもらいましょう。

③周囲からの見通しの改善を

- 泥棒が身を隠せないよう、塀や植栽などは見通しがきくように工夫しましょう。

④貴重品の保管に工夫を

- 多額の現金を家に置かないようにしましょう。
- 通帳や貴金属などだけでなく、マイナンバーカード、パスポートや健康保険証なども保管場所を工夫しましょう。

⑤近隣との連携を

- ご近所同士、あいさつをしましょう。
- 旅行などの時は、ご近所に声をかけておかけましょう。



特殊詐欺（オレオレ詐欺、還付金詐欺等）

特殊詐欺とは、犯人が電話等の通信手段を使い、親族や公的機関の職員等を名乗って被害者を信じ込ませ、現金やキャッシュカードをだまし取ったり、犯人の口座に送金させたりする犯罪の総称です。

主な手口や特徴

特殊詐欺は、オレオレ詐欺、預貯金詐欺、架空料金請求詐欺、還付金詐欺、融資保証金詐欺、金融商品詐欺、ギャンブル詐欺、交際あっせん詐欺、その他の特殊詐欺、キャッシュカード詐欺盗の10種類に分類されます。

代表的な手口は次のとおりです。

● 「オレオレ詐欺」

親族を装い、「カバンを置き忘れた、小切手が入っていた、お金が必要だ」などの名目で、金銭等をだまし取るもの。

● 「預貯金詐欺」

警察官、金融機関職員等を装い、「あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要である」などの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取るもの。

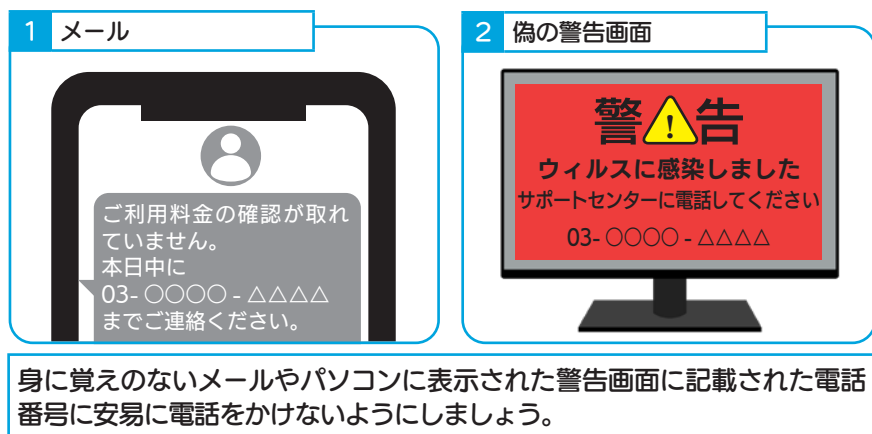
● 「還付金詐欺」

自治体職員等を装い、医療費、保険料、税金等について「還付金があるので手続きして下さい、今ならATMで手続きできる」などの名目で、被害者にATMを操作させ、被害者の口座から犯人の口座に送金させるもの。

● 「架空料金請求詐欺」

通信事業者、サイト事業者等を装い、メール等で「有料サイトの利用料金が未納です」などと送信して金銭等をだまし取るほか、パソコンでインターネットを閲覧中に、突然ウイルス感染したかのような偽の警告画面を表示させ、問題を解決するためのサポート名目で金銭等をだまし取るもの。

■ メールやパソコンの警告画面の例



● 「キャッシュカード詐欺盗」

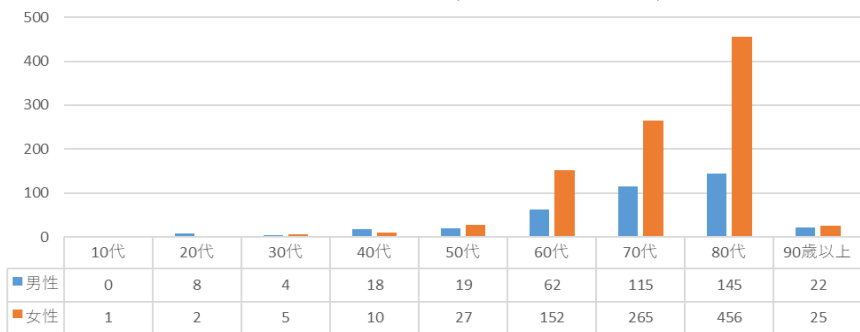
警察官や銀行協会、大手百貨店等の職員を装って被害者に電話をかけ、「キャッシュカードが不正に利用されている」などの名目により、キャッシュカード等を準備させた上で、隙を見てキャッシュカード等をすり替えて盗み取る。

～ご注意ください！～

- 被害にあった人の9割以上が「自分はだまされない」と思っていました。
- 被害者の9割以上が65歳以上で、そのうちの約8割が女性です。
- 電話で「お金」に関する話が出たら、詐欺を警戒しましょう。

* 平成30年に警察庁がオレオレ詐欺の被害者に実施した調査による。

特殊詐欺の年代別被害状況（令和5年 暫定値）



被害を防ぐためには

- 日頃から家族と特殊詐欺について話し合い、お互いに気軽に相談できる環境を作りましょう。
- 他人には絶対に現金やキャッシュカードを渡さないようにしましょう。
- 特殊詐欺被害の9割は、犯人からの「電話」に出たことがきっかけです。次に挙げる「**犯人からの電話に出ない**」対策が最も有効です。

在宅時でも留守番電話を設定

犯人は自分の声が証拠として残ることを避けるため、何も話さずに電話を切ります。

在宅中も自宅の固定電話を留守番電話に設定し、相手を確認してから電話に出ることで、犯人からの電話に出ることなく、被害を防ぐことができます。

ナンバーディスプレイの活用

知っている番号に安心して出られます。非通知の番号や知らない番号には出ないようにしましょう。

防犯機能付き電話などの対策機器の設置

自動通話録音機能や着信前に警告メッセージを流す機能を持った電話機や、後から電話機に取り付ける装置などがあります。

県ホームページでは、留守番電話のメッセージ音声や対策機器を紹介しています。また、対策機器を実際に体験できる「特殊詐欺被害防止ワークショップ」もご活用ください。(41 ページで紹介しています)



特殊詐欺対策HP



～子供を特殊詐欺に加担させないために～

「荷物を受け取るだけの簡単なバイトだよ」などと SNS 等によるアルバイト募集の甘い言葉に乗り、少年が安易に「受け子*」として特殊詐欺に加担してしまう事例が発生しています。

日頃から家族で特殊詐欺について話し合い、軽はずみな行為が重大な犯罪につながることを伝え、規範意識の向上を図りましょう。

* 受け子とは、息子や孫、警察官や金融機関職員を装い、被害者の自宅などへ行き、現金やキャッシュカードをだまし取る犯人のことを言います。

こんな言葉は詐欺を疑って！

- こんな言葉でお金を要求されたら、必ず家族に確認・相談するか、110番又は最寄りの警察署に相談してください。

【オレオレ詐欺（子供・孫になりすます手口）】

- 会社の書類（小切手）が入ったカバンをなくした／会社の書類を間違って送った／お金が必要だ
- 会社の金を使いこんだ／株の投資で失敗した
- 不倫して女性を妊娠させた／痴漢で捕まった／交通事故を起こした／示談金が必要だ
- お金を（会社の同僚・上司、弁護士）が取りに行く／お金はすぐ返す

電話の相手が家族の名前を名乗っても、お金の話が出たら、一度電話を切り、必ずいつも使用している電話番号にかけ直して、本人に事実の確認をしましょう。

【預貯金詐欺・キャッシュカード詐欺盗（キャッシュカードを狙う手口）】

- 〇〇警察です／銀行協会です／〇〇銀行です／〇〇百貨店です
- 個人情報が出ています
- あなたの〇〇座が不正利用されている／カードが偽造されている／あなた名義のクレジットカードで買い物をした人がいる
- 預貯金保護のため〇〇座を停止する／暗証番号を教えてください／キャッシュカードを新しくする必要がある／カードを預かる

警察官や銀行協会等の職員が、暗証番号を聞いたり、キャッシュカードを預かるために訪問したりすることは絶対にありません。

【架空料金請求詐欺（電子メールやハガキ等で金品を要求する手口）】

- 有料サイトの未納料金があります（SMS）
- 警告ウイルス感染（パソコンポップアップ画面）
- 総合消費料金未納分訴訟最終通知書（ハガキ）
- 法的措置に移行します／差押えをします
- 遠隔でサポートします／セキュリティソフトをインストールします
- 電子マネー（プリペイドカード）を購入し、ID 番号を教えてください
- 株・社債購入権（老人ホーム入居権）を譲ってください／名義貸しは犯罪

発信元に心当たりのない不審なメールを受け取った場合やパソコンに警告画面が出た場合は、詐欺を疑い警察に相談しましょう。

【還付金詐欺（ATM で振込みをさせる手口）】

- 市役所です／○○税務署です
- 医療費（保険料・税金）の過払い金（払い戻し）があります／手続は今日までです
- 駅前・コンビニ・スーパーの ATM で受取手続きができます
- 医療制度が変わったので、還付金が受け取れません



自治体や税務署等の職員が、医療費や税金の払い戻し手続のため、ATMの操作を依頼することは絶対にありません。

【融資保証金詐欺】

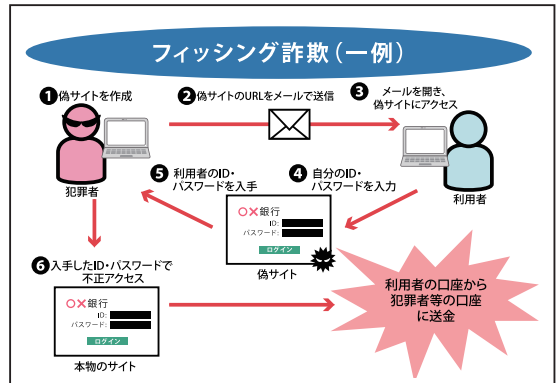
- （融資を受ける際）保証金として〇万円振り込んでください

サイバー犯罪

サイバー犯罪とは、コンピューター技術や電気通信技術を悪用した犯罪です。

～サイバー犯罪の具体例～

銀行やクレジットカード会社等を装った電子メール・SMS（ショートメッセージサービス）を送付するなどして、偽のホームページに誘導し、クレジットカード番号や銀行口座の情報、ID、パスワード等を入力させて盗むフィッシング詐欺が増えています。



情報がとられると、本人に成りすましてクレジットカード情報を勝手に使われたり、不正アクセス被害などにあう恐れがあります。

SNS には要注意！

SNS * を利用して、犯罪に巻き込まれることがあります。犯罪被害にあわないために、

- ・ SNS には個人情報がかかるような投稿をしない
- ・ SNS に写真を投稿する場合は、写真の背景等にも気をつける
- ・ SNS 上で知り合った相手と二人だけで会わない

といった対策をとりましょう。

友人同士のコミュニケーションを目的としていても、不特定多数の人が閲覧できる状態になっていることを念頭において利用しましょう。

* SNS とは「ソーシャル・ネットワーキング・サービス」の略で、メッセージや画像の投稿など、情報発信や利用者同士の交流ができる会員制 Web サービスのことです。

被害を防ぐためには

- 他人が簡単に推測できるようなパスワード設定はやめましょう。
- パスワードはサービスごとに異なるものを使用しましょう。
- クレジットカードは3Dセキュア（本人認証サービス）を導入しているカード会社を選びましょう。
- 各種サービスのログインには、秘密の質問、ワンタイムパスワード等の二段階認証を積極的に活用しましょう。
- OS やアプリはアップデートし、最新の状態を保ちましょう。
- ウイルス対策ソフト・アプリを導入しましょう。

～怪しいメールなどの特徴・注意点～

フィッシングメール

- メールや SMS に添付されたファイルや URL は開かない。
- 事前に公式ホームページをブックマーク登録、または公式アプリをダウンロードしておき、ブックマークやアプリからアクセスする。

通販サイト

- 通信が暗号化されていない（アドレスバーの鍵マークがない等）。
- ドメイン末尾が見慣れないもの。
- 店舗紹介と販売商品が矛盾しているなど、種類が雑多で不自然。
- 他の通販サイトと比べ商品の価格が極端に安い又は割引率が高い。
- 会社情報に名称、代表者、所在地、電話番号等の記載がない。
- 支払方法の説明と実際の決済画面とで対応可能な支払方法が違う。
- 振込先口座が個人名。

スマートフォンアプリ

- インストール時にアプリに関係ない「アクセス許可」を求める。
- 公式アプリストアにないアプリ。